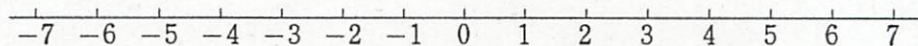


正の数・負の数
復習プリント (001)

① ● 数の分類 ●

整数を数直線上に表すと次のようになります。



1, 2, 3, …… を正の整数
……, -3, -2, -1 を負の整数 といいます。
正の整数のことを, 自然数 ともいいます。



② 次の問いに答えなさい。

$$-1, 0.2, 7, -\frac{2}{3}, 0, 2$$

- (1) 上の数の中から, 負の整数を選びなさい。
- (2) 上の数の中から, 自然数をすべて選びなさい。

解答 (1) -1 (2) $7, 2$

③ 次の問いに答えなさい。

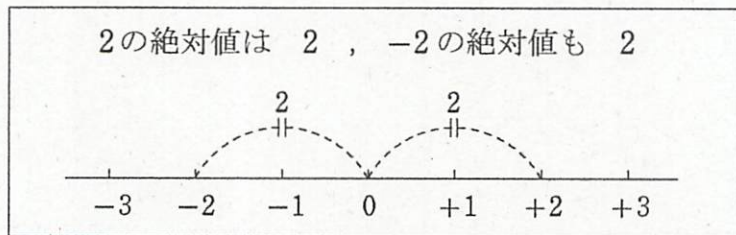
$$+0.5, -4, -7, +2, -0.3, +\frac{1}{3}, 0, -\frac{1}{4}, -10$$

- (1) 上の数の中から, 正の数をすべて選びなさい。
- (2) 上の数の中から, 負の整数をすべて選びなさい。

解答 (1) $+0.5, +2, +\frac{1}{3}$ (2) $-4, -7, -10$

4 ● 絶対値 ●

数直線上に、ある数を表す点をとるとき、
原点からその点までの距離を、その数の **絶対値** といいます。



5 次の数の中で、絶対値が等しい組をすべて選びなさい。

$$-\frac{6}{5}, 0, -2.4, +1.2, -0.2, +\frac{1}{5}$$

解答 $-\frac{6}{5}$ と $+1.2$, -0.2 と $+\frac{1}{5}$

6 次の数の絶対値をいいなさい。

(1) $+6$

(2) $-\frac{9}{2}$

解答 (1) 6 (2) $\frac{9}{2}$

7 絶対値が4より小さい整数をすべていいなさい。

解答 $-3, -2, -1, 0, 1, 2, 3$

8 次の各組の数を、絶対値の小さい方から順に左から並べなさい。

(1) $-2, +1, -5$

(2) $+\frac{1}{2}, -\frac{1}{3}, +\frac{2}{3}$

解答 (1) $+1, -2, -5$ (2) $-\frac{1}{3}, +\frac{1}{2}, +\frac{2}{3}$

9 ● 数の大小 ●

- 正の数は負の数より大きい。

$$-1 < 2 \quad , \quad -10 < 1$$

- 正の数は絶対値が大きいほど大きい。

$$2 < 3 \quad , \quad 0.2 < \frac{1}{4}$$

- 負の数は絶対値が大きいほど小さい。

$$-3 < -2 \quad , \quad -\frac{1}{2} < -\frac{1}{3}$$

<, > を不等号とい
います。
2 < 3 と 3 > 2 は
同じです。



- 10 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) -3, +4

(2) -5, -1

(3) -2.8, -3.2

(4) -7.6, +6.7

解答 (1) $-3 < +4$ (2) $-5 < -1$ (3) $-2.8 > -3.2$ (4) $-7.6 < +6.7$

- 11 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) +6, -4, 0

(2) $-\frac{3}{4}$, $-\frac{1}{2}$, -1

解答 (1) $-4 < 0 < +6$ (2) $-1 < -\frac{3}{4} < -\frac{1}{2}$

- 12 次の数を、小さい方から順に左から並べなさい。

$$+\frac{1}{4} \quad , \quad -4 \quad , \quad -\frac{24}{5} \quad , \quad +0.2 \quad , \quad -5$$

解答 $-5 \quad , \quad -\frac{24}{5} \quad , \quad -4 \quad , \quad +0.2 \quad , \quad +\frac{1}{4}$